

子供 上にはおあるんが甲  
のころ お習字をケシマ たいおある

皆きれいな字をかく でも先生はもうとせれ

りだ フレシとただ威心するばかりだつた

中ぎにナリテンアシの研究社へ行った時

同じだ 卒業感でちぢこまろしそつた

それぞんの勇田袋 技師者も社考の差けある

ものろその思ひは同じでやろろと思つている

ところかんの心の杖態でも同じなるニと外

するうしり

かんニズ 頼むもろとかんニズ

努力家も同じだ 人へのやさしさもだ

とでもやさしい人に出るん どうしてこん

なにかさしいのかと思つていた

やさしくしよるとしていらぬ

云々 それういいうけ実なりか

努力かといろうは限界があるやと思ふ

目標とてついでにふひかした 私自身

何事も失敗していい

自然心は やすしいふろ子いぢいづううるとえん

やさしさがあるとしか思えあふ

やさしさの半には燦といたやさしさがあるし

事があるときの際の対応のやさしさ 相手の立場

と向きあうやさしさがある

人への所作のやさしさの裏側には心がある

かといろこどもである

目より立場を学んだ上でのやさしさもある

勝負 気持ちよくあつ やさしい人を見つけた

二人にははいわいといるは存在しあふのか

そうしてとつとも素直に

一番不思議な人はかもしあふ

その心の甲をもうと知りたいたい